

た報
第60号

上野東部だより

2025年3月1日
発行
東部地域住民自治協議会
総務広報部
伊賀市緑ヶ丘東町920
上野東部地区市民センター内
TEL・FAX 24-3999



えびす様



大黒様



チャイナの女性



火星人



露の団四郎の落語と百面相の演技



うさぎ



たこ



人権パネル展



「笑いとお人権」
「ちよつとの違いで大きな違い」

露の団四郎の人権落語講演会

さわやかな秋晴れの令和6年11月最後の土曜日、30日に東部地区市民センター3階ホールにて人権落語講演会がありました。

落語家「露の団四郎」さんをお迎えして、「笑いとお人権」～ちよつとの違いで大きな違い～という内容で、講演がありました。団四郎さんは今年、「露の五郎」を襲名されます。

少年時代の自分の足についての少し悲しい思い出も、話していただきました。落語家が高座で落語をするときは、足はなにも問題ないのでよかったです。

その後は、「か」と「が」の違いで意味が変わる面白さのお話。露の団四郎か～と、露の団四郎が!では、かなりニュアンスが変わります。

もう一つ。「遠慮するな。気兼ねせよ」。例えば師匠から「お前何食べるの?」の問いに「天ぷらうどん」と

即答したら、後で師匠が「きつねうどん」となるとバツが悪くなることを考慮したうえで、先に「師匠は何を?」と聞く配慮をもちましょう。笑いを交えての師匠と弟子のやり取りがわかりやすく、自分の態度も振り返ることができました。

「待ってました!」の掛け声をかけるタイミングの練習(?)をしてから、休息となりました。

後半は「落語」～コンビニ店長と強盗をしたい男～とのやり取りと様々な道具を使つての「百面相」の披露がありました。

最後は、サイン入りの色紙の抽選会もあり、80名以上の参加者が大いに笑って楽しむことができました。

同じ地区市民センターで、11月25日～12月2日まで「気づき」をテーマにした、人権パネル展がありました。

(取材：藤井 恵美)

本年度も部会事業活発に開催

健康福祉部会

地域食堂
(毎月第2日曜日)



健康測定
(11月)



健康教室『音楽療法』
(10月)



健康ウォーク
～剣聖の里「柳生」を歩く～
(11月)



教育・文化・スポーツ部会

教育文化視察研修
大垣市『奥の細道むすびの地記念館』を訪ねて
(11月)



環境保全部会

クリーンウォーク
(4・6・8・10・12・3月)



「魔法の水・マイエンザ」
無料配布(7月・12月)



環境学習会
『咲くやこの花館』見学
(11月)



参加者延べ1,977人
来年度はぜひあなたも参加を!

教育・文化・スポーツ部会

スポーツ大会(12月)



ボッチャ



ボッチャ



ゲートボール



グラウンドゴルフ

防災防犯交通安全部会

第17回東部地域防災フェスタ(10月)



青色防犯パトロール
講習会(6月)



人権啓発部会

露の団四郎さんの
人権落語講演会
「笑い与人権」
～ちよつとの違いで大きな違い～
(11月)



産業振興 まちづくり部会

新鮮市(10月)



「みんなで楽しくまちづくり」
講演会(12月)



〈取材：松原 秀明〉

学校だより 緑ヶ丘中学校



緑祭 ～文化の部～ 開催



全校作品『夢手帳』

10月4日(金) 伊賀市立緑ヶ丘中学校で2024年度緑祭～文化の部～が開催されました。今年度の文化の部のテーマは、「We'll Be New Dreamers ～みんなが主役の文化の部～」自分の夢に理想や希望を持ち、追い求めてほしい、みんなが文化の部の主役になってほしいという思いをこめて、生徒会が中心となりこのテーマに決定したそうです。

午前の部では、初めに伊賀市広島派遣事業への参加報告があり、そのあと、科学部、美術部、ヒューマンライツ部など文化部による舞台発表が行われました。それぞれの作品と真剣に向き合ったり、仲間と励まし合って練習に取り組んだりした姿を垣間見ることができました。

合唱の取り組みでは、1年生は学年合唱、2・3年生はクラスごとに合唱コンクールが行われました。日頃の練習の成果が発揮され、それぞれの持ち味を生かした歌声が体育館に響き渡りました。

午後の部では、吹奏楽部の発表があり、「世界はあなたに笑いかけている」「点描の唄」「学園天国」「マードックからの最後の手紙」などが演奏されました。「ジョジョの奇妙な冒険」では、先生方の飛び入りパフォーマンスもあり、会場は大盛り上がりでした。

どの発表からも、熱心に練習や作品づくりに頑張ってきたことが伝わり、また生き生きと発表する子どもたちの姿に心を動かされた一日となりました。

〈取材：野村 真紀〉



科学部



美術部

大型
作品



合唱コンクール



吹奏楽部

健康福祉部会

地域食堂パプリカ

(令和6年度)

本年度もご参加いただきました皆様方、
ご支援いただきました各団体様、
ありがとうございました。

- ① JAいがふるさと 様
- ② 伊賀市社会福祉協議会 様
- ③ 株マルタフーズ 様
- ④ 株サンシヨク 様
- ⑤ 伊賀地区労働者福祉協議会 様
- ⑥ 上野東ロータリークラブ 様
- ⑦ 株金澤兼六製菓 様

地域食堂 **パプリカ** 開催

令和6年
12月8日(日)

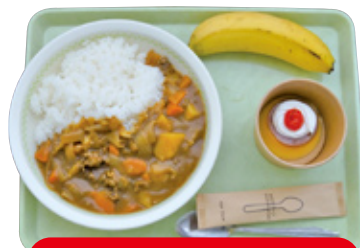
昨年の師走、一気に寒さと忙しさが加速してきた12月8日午前10時より、東部地区市民センターに於いて、第9回地域食堂「パプリカ」が開催されました。

1年の締めにあふさわしく、開始時間から次々と受付に参加者が訪れ、3階「まなびタイム」も大賑わい。スタッフも対応におおわらわです。

そして今回はクリスマスも近いということで、上野東ロータリークラブの方が、サンタクロースやトナカイに扮して参加者にお菓子のサプライズプレゼント。皆さん大喜びでセンター内は熱気にあふれました。また上野高校の学生さんも見学を訪れ、82名(内子どもさん27名)で過去最高となり、調理場スタッフもてんやわんやの大奮闘でした。

メニューはカレー、バナナ、プリン、ホイップクリーム、サクランボ添えです。配膳担当のスタッフも参加の方から温かい言葉をかけていただき、とてもほっこり気分になったと話していました。

今年も引き続き、地域の皆様の良き交流となりますよう頑張りたいと思います。(スタッフ一同)



12月度パプリカメニュー



サンタクロース登場!!



サプライズプレゼントに大喜び!!

クリスマスツリーづくり



パプリカ食堂



〈取材：縄手 稔〉

山里の風景が広がる剣聖の里「柳生」を歩く

柳生観光駐車場



柳生観光「駐車場」に到着、ガイド2名様と合流して、Aグループ、Bグループ編成で出発しました。

柳生十兵衛が延べ約1万人ともいわれる弟子を鍛えたと伝えられる「正木坂剣禅道場」に由来します。柳生新陰流の精神を受け継ぐ道場です。



正木坂剣禅道場

芳徳寺



芳徳寺の北50m、裏山の松林の中に柳生一族の墓所がある。柳生宗矩の墓石を中心に、石舟斎、十兵衛、宗冬、など80数基の墓石が並んでいます。

神護山芳徳寺といい、柳生家の菩提寺で1638年に柳生宗矩が父石舟斎の菩提を弔うために創建し、沢庵和尚が開山した寺院です。



柳生家一族の墓所

一刀石



江戸時代後期に柳生藩家老として藩の財政を立て直した小山田主鈴の屋敷。1964年から作家の山岡荘八氏の所有となり、柳生を舞台にしたドラマ「春の坂道」の構想が練られた所。

約7m四方で中央から2つに割れた巨石。石舟斎が天狗と試合を行い、一叩のもとに天狗を切り捨てた所。



旧柳生藩家老屋敷

東部地域住民自治協議会健康福祉部会の事業として「健康ウォーク」が、風もなく秋晴れに恵まれた令和6年11月14日(木)に実施されました。

定員38名として募集したところ26名(健康福祉部員含む)の応募があり、Aグループ、Bグループに分かれて、ガイド様の丁寧な説明を聞きながら剣聖の里「柳生」をめぐるしました。

柳生観光「駐車場」で2名のガイド様と合流。正木坂剣禅道場～芳徳寺～柳生家の墓所～天之石立神社～一刀石～久保田亭(昼食)～旧柳生藩家老屋敷～柳生観光「駐車場」までのコースを、約3時間かけてめぐりました。アップダウンの山道の連続で予想していたより少しくつかった、との声がありました。

柳生の地名の由来は、この地に大きな柳の木があったことからその名前が呼ばれるようになったとことです。江戸時代に将軍家指南役として天下に権勢を振るった柳生藩一万石の地です。また「宮本武蔵」「春の坂道」をはじめとする小説やNHK大河ドラマの舞台として登場した、柳生一族にまつわる史跡が残る山間の静かな盆地です。この地をゆっくり歩き、いにしへの剣豪たちの息吹に出会えた一日でした。

柳生のガイド様、東部地区の部会役員様、参加者の皆様のおかげで無事終わることができました。ありがとうございました。

〈取材：縄手 稔〉

編集後記

寒さの中にも春の息吹を感じる季節となりました。今月号は、露の団四郎の人権落語講演会や、大盛況だった地域食堂パブリカ開催の様子などを特集しました。私事で恐縮ですが、長男が小学校を卒業する時期となりました。6年前、真新しいランドセルを背に胸を張って通学する姿が昨日のことのようです。卒業を迎える子どもたち、そして見守ってこられたご家族の皆様心にエール送りたいと思います。

春の日差しが日に日に柔らかくなってまいります。桜の開花が待ち遠しい今日この頃です。次号もどうぞお楽しみに。

(山岡 可愛)

東部自治協
ホームページは
こちらから

